
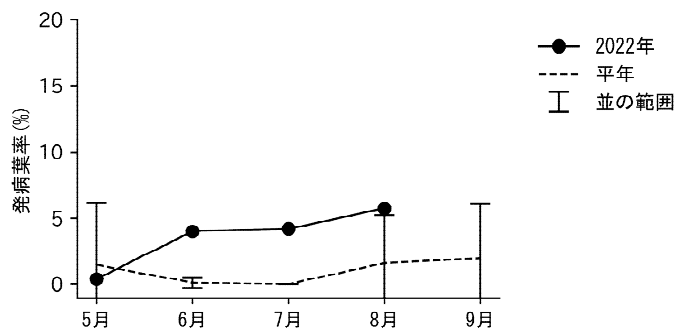


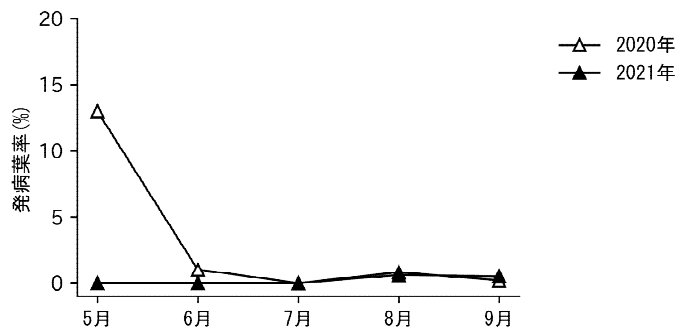
作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	① うどんこ病		
調査結果	8 月の発生量 (平年比)	やや多	
予 報	8 月からの増減傾向	→	
	9 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

うどんこ病の今期と平年の発生推移




うどんこ病の過去2年の発生推移



・発生ほ場率60.0% (平年：28.9%)

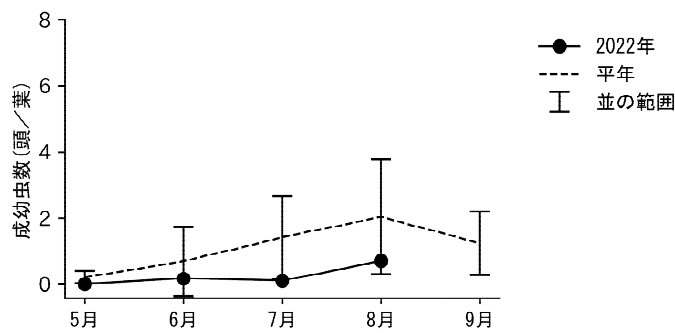
防除のポイント

- ・下位の罹病葉や残葉は速やかに除去し、風通しを良くする。
- ・窒素過多にならないようにする。
- ・草勢を維持し、適切な施肥管理を行う。

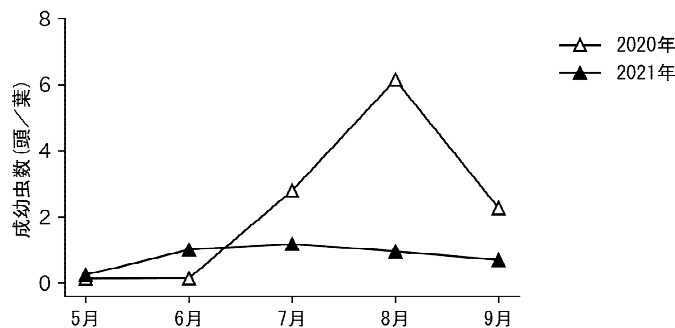
作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	フタテンミドリヒメヨコバイ		
調査結果	8 月の発生量 (平年比)	並	 成虫
予報	8 月からの増減傾向	↓	
	9 月の発生量 (平年比)	やや少	
予報の根拠	平年の発生量の推移 (↓)		

調査結果

フタテンミドリヒメヨコバイの今期と平年の発生推移



フタテンミドリヒメヨコバイの過去2年の発生推移




・発生ほ場率100% (平年 : 75.6%)

防除のポイント

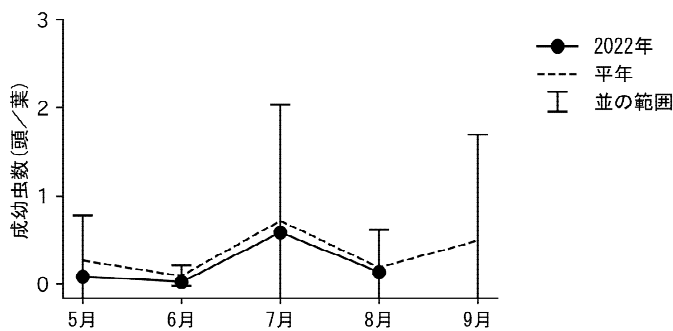
・多発すると被害葉は黄変萎縮するので、葉裏を観察し、早期発見・防除に努める。



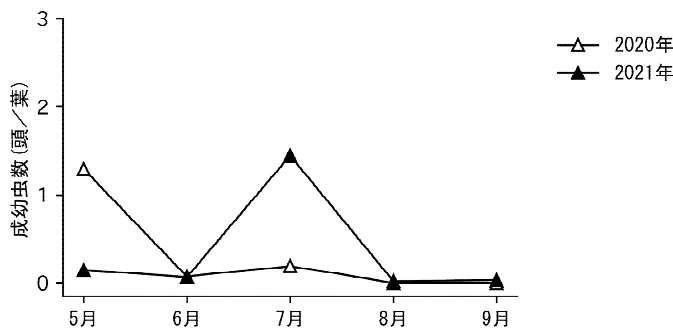
作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	アブラムシ類		
調査結果	8 月の発生量 (平年比)	並	
予報	8 月からの増減傾向	↗	
	9 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

アブラムシ類の今期と平年の発生推移




アブラムシ類の過去2年の発生推移



・発生ほ場率40.0% (平年 : 24.4%)

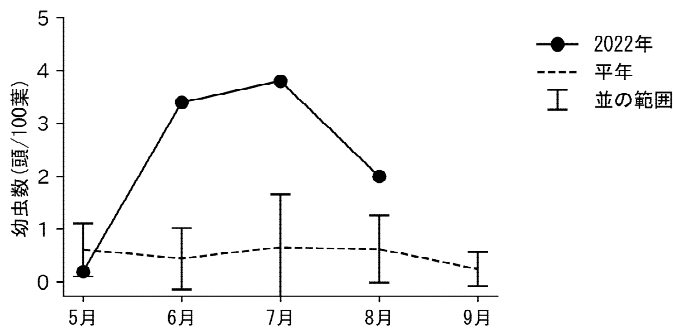
防除のポイント

- ・多発すると新葉の萎縮や芯止まりにより生長が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・発生源となるほ場内外の雑草を除去する。

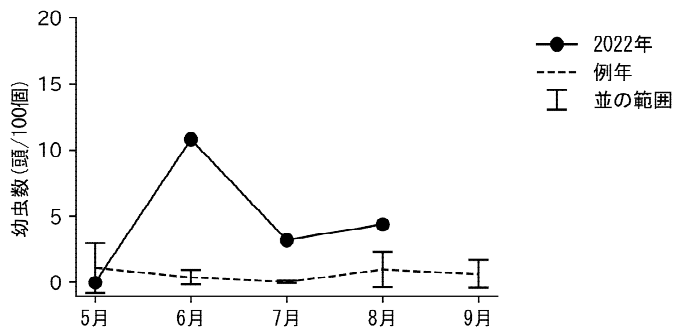
作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	② チョウ目幼虫		
調査結果	8 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	8 月からの増減傾向	↓	
	9 月の発生量 (平年比)	多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)	

調査結果

チョウ目幼虫の今期と平年の発生推移



チョウ目幼虫(果実)の今期と例年の発生推移



・発生ほ場率40.0% (平年：28.9%)、一部ほ場で多発
 発生種：ハスモンヨトウ、ワタノメイガ

防除のポイント

- ・発生密度が低い場合は、捕殺が有効である。
- ・老齢幼虫に対しては薬剤効果が低減するので、若齢幼虫による食害痕を発見したら、速やかに薬剤を散布する。

